

第257回 アクティブラーニング推進の立場から 見えたこと ～高専での経験を通して～

- アクティブラーニング(AL)推進実践校での勤務
 - 高専ってどんなところ？
 - AL推進担当としての主な業務内容
- 業務を通じて見えてきた課題
 - どこまでやれば推進したと言える？
→学校、個人としての目的、目標(ゴール)設定の難しさ
 - 学習目標と評価方法(汎用的能力の場合)
- 研究テーマとの関連
 - 対人援助職(教員, カウンセラー)の能力開発支援の観点から
 - 「行為の中での省察」、「判断」、「対話」がキーワードかな？

アクティブラーニング(AL)とは？

- 教員による**一方向的な講義形式**の教育とは**異なる**.
- 学修者の**能動的な学修への参加を取り入れた**教授・学習法の総称.
- 認知的,倫理的,社会的能力,教養,知識,経験を含めた**汎用的能力の育成**を図る.

出典:新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて

～生涯学び続け、主体的に考える力を育成する大学へ～(H24.8.28 中央教育審議会 答申)用語集p37

高等専門学校とは？

- ・ 実践的・創造的技術者を養成することを目的とした高等教育機関
- ・ 全国に国公立合わせて57校あり、全体で約6万人の学生が学んでいる
- ・ 中学卒業後の15歳から入学できる(高等教育機関)
- ・ 5年制（商船学科は5年6ヶ月）+2年間の専攻科



AL推進担当としての主な業務内容

■ AL拠点校としての活動

- 全国高専AL推進担当者向けの研修企画・実施

■ 学内のAL推進活動

- グループワークなど協同学習の導入相談
- ICT活用のための授業相談
- 動画コンテンツ作成
- 教職員向け研修会，学内勉強会の企画・実施



見えてきた課題)どこまで推進するのか

<高専教育の特徴>

- 実験、実習、演習の機会が多い
- 高学年になるにつれ、問題解決、創発的な授業が増加
- ロボコンを始め、コンテスト、コンペティションへの参加
- 授業数が多い（卒業要件167単位以上）→学修単位化の動き
- 大学編入の割合が増えている（勤務校の場合、7割前後）
- 専門科目の基礎的知識は詰め込みになりがち（基礎をおさえるため）

既にやっているのにこれ以上やるのか？
確かに「一方向形式の講義」だけではないが・・・

ある勉強会での出来事

A先生の授業をご覧
になられていかがでしたか？



あー、A先生の科目なら
できると思うけど、
私の担当科目は○○
、△△、××だからね
ー（無理だよ）。



見えてきた課題)

汎用的能力に関する学習目標と評価

とある研修会で・・・

えー、「入口」と「出口（目標）」を考えるのと同時に、評価も考えてみましょうね。



専門科目の内容なら分かるけど、汎用的能力が身についたかどうかって、本当に評価できるんですか？

<教員の声から>

- そもそも在学中には評価できないのではないかな？
- 学生の自己評価といっても書いていることと実際が合っているかは分からない。
- 1つの科目で身につくものではないのだから、気にしなくてよいのでは。
- HRや部活動、コンテストなどで身につければよいから授業でやる必要はないのでは？

